

(様式 3)

事業実施計画書

1 会社概要

項目	概要記載欄
(1)会社名	株式会社 秋田市
(2)設立年（西暦）	1 9 7 0 年
(3)代表者職氏名	代表取締役 秋田太郎
(4)業種・事業内容	食品製造業（〇〇の製造、販売）
(5)住所	〒010-8560 秋田市山王一丁目 1－1
(6)電話・FAX 番号	0 1 8 - 8 6 3 - 2 2 2 2
(7)資本金額	3, 0 0 0 万円
(8)従業員数	6 0 名
(9)財務諸表の分析結果	長所: 〇〇計算書の通り、〇〇な状況であり健全である。 短所: 長期的に見た場合〇〇〇が課題となっている。
(10)補助金事務担当者連絡先 所属・職・氏名 電話番号・メールアドレス	営業課 主任 秋田 史郎 TEL : 018-866-2164 Mail: ac00000@city.akita.lg.jp

コメント [1]: 役職等は履歴事項全部証明書に記載されているとおり記載する。

コメント [2]: 業種のほか、主な製品名や事業内容などを記載する。

※ 1 「財務諸表の分析結果」は、財務諸表 2 年分を分析し、長所と短所それぞれを記載すること。

2 事業計画

(1) 対象国およびその国を選択した理由

(各国・都市ごとに具体的に記載すること。)

台湾・台北市
近年台湾で〇〇の需要が伸びてきているため、台湾の首都である台北市を新たな市場として、自社の主力商品〇〇〇〇〇の販路開拓をねらう。

(2) 対象商品名およびその説明

(商品の生産地・加工地等を明記すること。パンフレット等の提出でも可。)

商品名: 〇〇〇〇〇 原料: 〇〇市産
製造・加工: 秋田市山王〇丁目〇-〇〇の△△工場内で製造
商品説明: 別添のパンフレット参照

(3) 事業の目的および目標

台湾へのインポーターを確保するための商談と、台湾向けの商品パッケージ改良を行うため、自社製品〇〇〇〇〇に対する現地の意見を確認することを目的とする。
最終的に、候補を 2 社に絞りこみ、本事業中のインポーター決定を目標とする。

(4) 事業の段階

(事業の開始時期や現在の状況など、具体的に記載すること。)

平成30年7月より事業開始。国内の見本市で台北市業者から引き合いあり。同年10月、現地の見本市を視察後、台北市内の日本食を取り扱う店舗の市場視察を実施。令和元年4月、アドバイザーと調整し、〇月の見本市への出展を決定。現在に至る。

(5) 目標を達成するための創意工夫

(事業計画について、独自の工夫等があれば、具体的に記載すること。)

自社製品〇〇〇を食材として使用する場合の調理例を記載した中国語版のチラシを準備している。

(6) 国際コンテナ貨物利用見込み

(対象事業について、秋田港から輸出する貨物を記載すること。)

	貨物の内容	R	貿易相手国 (港湾名)	輸出見込 (TEU)	備考
1	自社製品〇〇〇		台北港	1	混載
2					
3					
4					
5					
合計				1	混載
前年度実績				0	

※2 表中の「貨物の内容」には個別の品目を記載すること。

※3 リーフアーコンテナ利用時は、表中のR項目に○を記入すること。

※4 備考欄には、「単独」・「混載」、輸出時期等説明必要な事項を記載すること。

3 事業の実現性

(1) 実施体制

(専門部署の有無、海外事業担当者の有無など、具体的に記載すること。)

販路開拓の事業は代表取締役1名と担当者1名の合計2名で実施している。海外取引の専門部署は設けておらず、国内の営業課において実施しており、担当者は国内・海外の両方を担当している。

担当者：事業課主任 〇〇〇〇 TEL：***-***-***

(2) 実施方法および手順

(事業実施の方法や手順などについて、具体的に記載すること。)

展示会△△△へ出展（令和○年○月○日～○月○日）
○月 現地展示会に社員２名とアドバイザーを派遣する。
当社製品○○○の現地反応を確認するとともに現地市場を調査。
○月 個別に取引候補と商談を実施する。
○月 アドバイザーと相談しながらインポーターを決定する。

(3) 準備状況

(現在の準備状況など、具体的に記載すること。)

アドバイザーを通じてコンテナ輸送会社と輸送の手続きや日程について調整中。
なお、これまで国内百貨店等の催事で需要や価格帯の感触を確認するとともに、段階的に展開。認知度の向上と販路の開拓に取り組んできた。

(4) 経費配分

(各事業の経費について、具体的に記載すること。)

(単位：千円)

A 事業区分	B 経費区分	C 総事業費	D 補助対象 事業費	E 補助金 申請額	F 備 考 (積算内訳)
見本市等出 展 事 業	出展経費				
	・ブース装飾費	300,000	100,000		過去実績による 秋田-台北航空券 @75,000*1 名
	・アドバイザー				
	・旅費	75,000	75,000		
	・委託	300,000	300,000		@20,000*3 日 秋田-台北航空券 @75,000*2 名
	通訳費				
	・謝金	60,000	60,000		
国際コンテ ナ輸送等	旅費				
	・交通費	150,000	150,000		
	小計	1,000,000	1,000,000	300,000	
	輸送経費				
	・海外輸送費	100,000	100,000		1TEU 混載実績より 取得料金表より
	・証明書等	20,000	20,000		
	小計	120,000	120,000	0	
合計		1,120,000	1,120,000	300,000	

※ 5 事業区分ごとに記載すること。E 欄の合計額は D 欄の 1/2 (千円未満切捨て) とし、上限 30 万円とする。